

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ:次回発信日は12月28日週報(予定)

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～牛乳類の販売個数はやや増加～牛乳乳製品の機能面等を訴求した需要拡大・理解醸成活動を～」

- ・12/11週の牛乳類の販売個数は、前週(12/4週)と比較して、牛乳類トータルでやや増加し、前年との減少率はわずかに縮小した。特に加工乳は、105.2%と前年を大きく上回っており、前週よりも3円程度販売単価が低下したことで需要を押し上げたと考えられる。乳飲料は価格改定によるシフトの動きが一巡し、反動により5週連続で前年を下回ったと推察される。
- ・はつ酵乳の販売個数については、ドリンクタイプは横ばい、個食タイプは減少、大容量タイプは増加した。大容量タイプは前年並みに迫る水準となっており、今後の動向に注視したい。
- ・バター販売個数は、前週よりも増加したが、前年比▲9.4%と低調な結果となった。バターや生クリーム等はクリスマスに向けて需要が増加するなか、12月からの取引乳価引き上げに伴う製品価格改定が順次進んでおり、11/20週よりも17円販売単価が上がったことが販売個数に影響していると想定される。
- ・観光局の統計によると、11月のインバウンドはコロナ禍前(2019年)との比較で100.0%と順調に回復しており、業務用を中心とした需要の底上げに今後も期待がかかる。なお、中国からの訪日客は2019年比34.4%と依然として低調であり、今後増加する可能性も十分考えられるため、更なる需要の増加にも期待したい。
- ・節約志向の継続等から家庭用需要は引き続き前年を下回る低調な推移が想定されるなか、今週末で冬休みに入る学校も多く、給食が休止となるため、年末年始は例年同様飲用需要が大きく減退すると考えられる。インフルエンザの流行を踏まえ、牛乳乳製品の機能や栄養面・健康面での貢献できること等を積極的に訴求し、継続的な需要拡大、理解醸成活動に取り組むことが重要である。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先

- 「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
- 「20,040のチカラ」 <https://www.j-milk.jp/news/Power20040.html>
- 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009qzb.html>

「延長決定」

「土日ミルク」啓発ツールの無償提供:2024年3月19日(火)締切

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(12/11)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:同96.9%、成分調整牛乳:同83.5%、加工乳:同105.2%、乳飲料:同98.3%。

牛乳類トータルでは同96.3%

※参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は93.9%。

・販売単価は、牛乳:225.8円、成分調整牛乳:208.9円、加工乳:215.6円、乳飲料:174.2円。

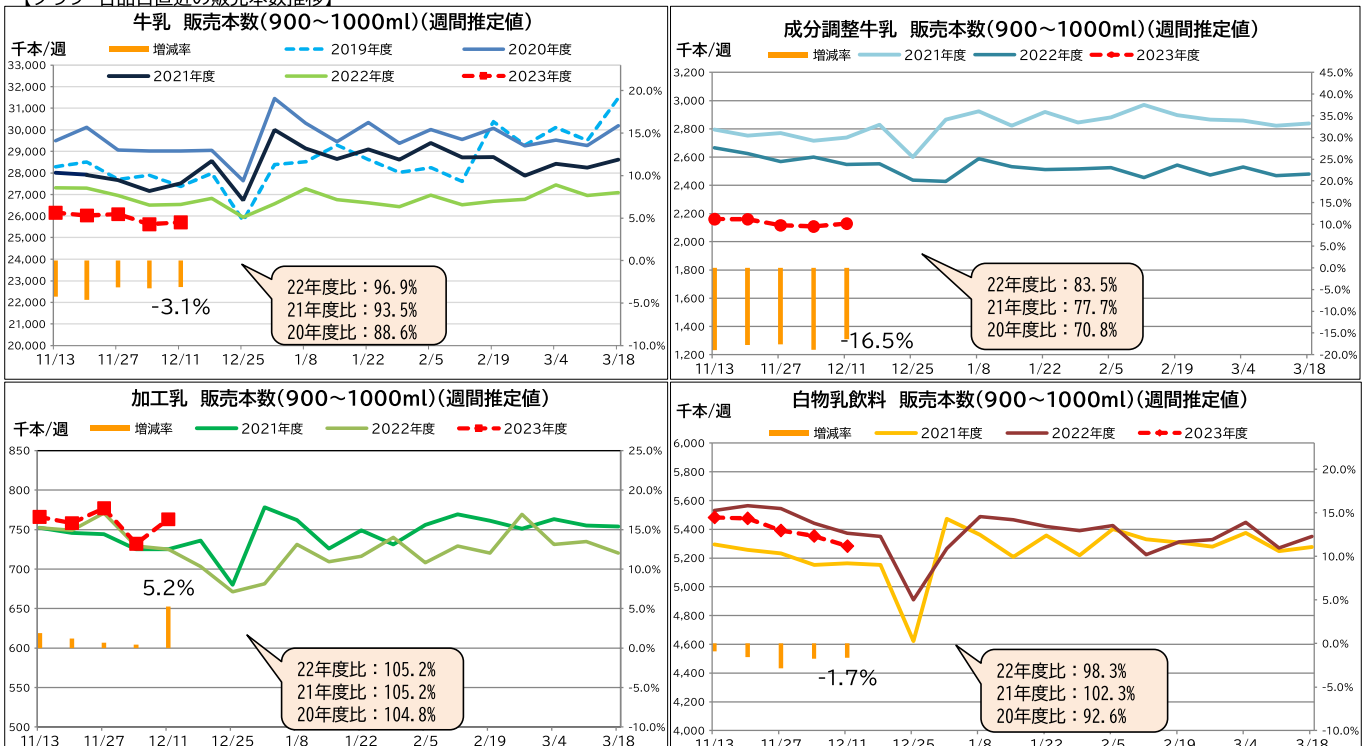
※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	10.23-	10.30-	11.6-	11.13-	11.20-	11.27-	12.4-	12.11-	23.12.11- 22.10.24 価格差	23.12.11- 23.3.20 価格差	23.12.11- 23.7.24 価格差
		トータル	販売個数	36,094	36,121	35,572	34,570	34,426	34,377	33,818	33,887	
	販売個数前年比	96.9	97.5	97.6	95.3	95.0	95.9	95.8	96.3	33.2	18.3	16.0
	販売単価	216.6	216.7	216.8	216.6	216.5	216.3	216.4	216.5			
牛乳	販売個数	27,271	27,266	26,821	26,160	26,031	26,093	25,624	25,714			
	販売個数前年比	96.1	97.5	97.9	95.8	95.4	96.8	96.7	96.9	35.5	19.2	18.0
	販売単価	226.2	226.4	226.6	226.1	226.3	225.7	225.8	225.8			
成分調整牛乳	販売個数	2,281	2,253	2,295	2,161	2,160	2,116	2,109	2,128			
	販売個数前年比	82.1	80.4	84.8	81.0	82.3	82.4	81.1	83.5	35.0	20.2	15.7
	販売単価	209.4	209.5	209.4	209.6	208.8	208.8	208.8	208.9			
加工乳	販売個数	797	822	779	766	758	777	732	763			
	販売個数前年比	105.7	106.5	104.2	101.9	101.2	100.7	100.4	105.2	24.7	14.3	3.7
	販売単価	218.4	216.2	217.7	217.4	216.8	215.4	218.7	215.6			
乳飲料	販売個数	5,745	5,781	5,678	5,482	5,476	5,392	5,353	5,283			
	販売個数前年比	107.7	104.6	101.4	99.1	98.4	97.2	98.3	98.3	24.3	14.5	9.9
	販売単価	173.4	173.7	173.7	173.7	173.3	173.5	173.6	174.2			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】






(1)直近の動向(表②参照)

直近(12/11週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について、前週(12/4週)と比較して、ドリンクタイプは横ばい、個食タイプは減少、大容量タイプは増加した。大容量タイプは昨年の実績に迫る販売動向となっている。はっ酵乳全体としては引き続き前年を下回っている。

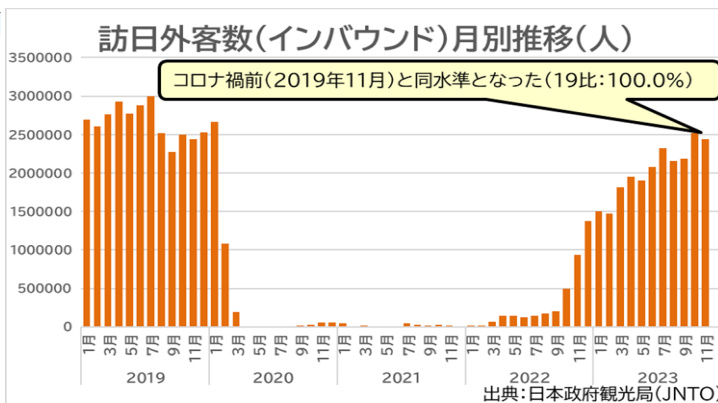
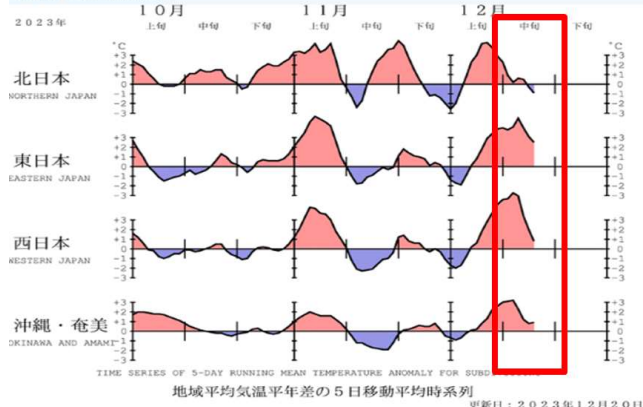
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	10.23-10.30-	10.30-11.6-	11.6-11.13-	11.13-11.20-	11.20-11.27-	12.4-	12.11-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘

	: 前年比90%未満		: 前年比105%以上110%未満
	: 前年比90%以上100%未満		: 前年比110%以上120%未満
	: 前年比100%以上105%未満		: 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大いことを表す。

※12/11週の気温経過 出典:気象庁  
前3か月間の気温経過



※「2023年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」